※それぞれの予防接種の接種間隔については、「予防接種と子どもの健康」をご確認ください。

定期予防接種一覧				
ワクチン	接種	対象年齢 （無料で受けられる年齢）	標準的な接種年齢 （接種をお勧めする年齢）	回数
ヒブ	初回	生後２～60 か月未満	生後２～７か月未満	３回 ※1
	追加		初回接種終了後、 7～13 か月の間隔をおいて	１回 ※1
小児用肺炎球菌	初回	生後２～60 か月未満	生後２～７か月未満	３回 ※1
	追加		初回接種終了後、 生後 12～15 か月未満	１回 ※1
Ｂ型肝炎	１回目	１歳未満	生後２～９か月未満	３回
	２回目			
	３回目			
四種混合 （百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ）	１期初回	生後３～90 か月未満	生後３～12 か月未満	３回
	１期追加		１期初回接種終了後、 12～18 か月の間隔をおいて	１回
ＢＣＧ※2		生後３～12 か月未満	生後５～８か月未満	１回
麻しん風しん混合 （MR）	１期	生後 12～24 か月未満	対象年齢内で、できるだけ早期に	１回
	２期	小学校就学前１年間		１回
水痘	１回目	生後 12～36 か月未満	生後 12～15 か月未満	１回
	２回目		初回接種終了後、 6～12 か月の間隔をおいて	１回
日本脳炎	１期初回	生後６～90 か月未満	３歳	２回
	１期追加		４歳	１回
	２期	9～13 歳未満	９歳	１回
二種混合 （ジフテリア・破傷風）	２期	11～13 歳未満	小学校６年	１回
子宮頸がん予防 （ヒトパピローマウイルス）※3	１回目	小学６年～高校１年 （16 歳相当）の女子	中学１年の女子	３回
	２回目			
	３回目			

※１）回数については生後２～７か月未満に接種を開始した場合のものを記載しています。
※２）ＢＣＧワクチンは、出生後早い時期に受けたときの重い副反応を避けるため、生後３か月からの接種をお知らせしています。
※３）子宮頸がん予防ワクチンの予防接種は、厚生労働省の通知により積極的勧奨を差し控えています。接種に当たっては、有効性及び安全性等について十分理解した上で受けてください。